

日本パーソナリティ心理学会第 82 回常任理事会（詳細案）

日 時：2007 年 7 月 14 日（土）15：00～19：15

場 所：東洋大学雨水開館 2 階 201 会議室

出席者：杉山，首藤，浮谷，北村，荒川，小塩，渡邊，川野，藤田，

欠席者：佐藤，菅原，有光，松田，中村

事務局：加藤

報告事項および審議事項

1. 各種委員会報告

(1) 機関誌編集委員会

1) 「パーソナリティ研究」第 16 巻第 1 号の印刷状況

15 論文：原著 8，資料 2，ショートレポート 5（前回報告通り），総ページ数 128 頁予定

2) 「パーソナリティ研究」第 16 巻第 2 号以降の編集状況

採択済の論文（7 月 11 日現在）は 3 編で、以下である。

種別	整理番号	題目	筆頭者	受稿	受理
原著	A-129E	行動 - 状態志向性測定の信頼性と妥当性の検討	青林 唯	2006.9.23	2007.5.7
ショートレポート	S-100E	友人関係場面における感情経験と自律的な動機づけとの関連	岡田 涼	2006.11.2	2007.5.17
資料	B-23E	4要件理論に基づく主張性と社会的情報処理および精神的適応との関連	渡部 麻美	2006.10.4	2007.5.30

審査中の論文（7 月 11 日現在）の審査状況は以下である。

審査状況	原著	資料	ショートレポート	展望	合計
受付のみ	0	1	1	0	2
初回審査中	8	4	6	0	18
2 回目以降審査中	13	5	2	1	21
修正採択修正中	1	4	2	0	7
審査中計	22	14	11	1	48

不採択	0	0	0	0	0
投稿取下	3	1	1	0	5

不採択，取下は 5 月以降の数

投稿状況（7 月 11 日現在）は以下（次葉）である。

年月	投稿総数	原著	資料	ショートレポート	展望	印刷投稿
19年1月	3	2	0	1	0	0
19年2月	4	1	2	1	0	0
19年3月	3	2	0	1	0	1
19年4月	10	6	3	0	1	0
19年5月	9	6	0	3	0	0
19年6月	5	5	0	1	4	0
19年7月	2	0	1	1	0	0

7月は11日現在

3) 編集規定の改正(継続議題)について

前回理事会の承認に基づき、電子投稿への一本化を中心とした編集規定の改正について、改正の内容は「パーソナリティ研究」第16巻第1号に掲載する予定である。

「パーソナリティ研究」の表紙にある「(旧性格心理学研究)」という文字を第16巻第1号から削除したいと提案され、承認された。

(2) 経常的研究交流委員会

1) 委員構成

継続：高比良美詠子(副委員長、メディア教育開発センター)、荒川歩(名古屋大学)、伊藤匡(東京大学)、加藤弘通(常葉学園短期大学)、小林知博(青山学院女子短期大学)、尾崎仁美(京都ノートルダム女子大学)、杉森伸吉(東京学芸大学)、友野隆成(同志社大学)、今尾真弓(名古屋大学): 10月14日シンポジウムまで任期延長

新任：文野洋(東京都立大学)、青林唯(千葉大学)、森本幸子(仙台白百合女子大学)

2) 第16回大会企画

シンポジウム1「パーソナリティ理解のためのダイナミカルアプローチ：人との関わり・文化・体験学習」

シンポジウム2「若き心理学者たちの模索：主要な研究法を巡って」

(3) 広報委員会(報告者：荒川委員長)

1) 活動報告

ウェブの更新

ニューズレター25号の準備：10月初旬に刊行予定

2) 今後の活動予定

ヤングサイコロジストプログラム

日時：2007年8月24日(大会前日) 15時～18時(予定)

3) ニューズレターの電子化と紙媒体での配布について

今回のニューズレターの発刊に際して、アドレス未登録の会員に紙媒体で発行したいので、別途予算を組めないかとの提案がなされた。

2. 2006年度決算案・2007年度予算案（報告者：藤田担当常任理事）

（1）2006年度決算書案

収入の部：決算額 7,465,773 円，予算額 7,054,449 円

支出の部：決算額 7,465,773 円，予算額 7,054,449 円

決算案に対して、基本基金積立金を零に修正し、機関誌編集委員会活動費を変更し、その費用を繰越金から引く、ことで承認された。

（2）2007年度予算書案

収入の部：予算額 6,196,000 円

支出の部：予算額 6,196,000 円

予算案に対して、国際交流員会活動費を 100,000 円に増額し、予備費を 149,750 円とすることで、承認された。

3. 新設委員会報告

（1）国際交流委員会

1) ARP ニュースレターについて

ARP ニュースレター “P” に、第 1 回原稿を送った

2) Gosling 先生のワークショップ

方法論を中心として検討中。9 月 21 日午後 3 時を予定。

（2）選挙規程委員会

選挙管理委員について、学会員内で選出する方向で検討中である。

以上の報告に基づき、次回の選挙に間に合うように、第 17 大会での承認を目指して作業を進める事が承認された。

（3）大会活性化委員会

1) 大会発表賞について

大会までに理事の投票により 10 組程度の候補を選定、編集委員、理事、名誉会員による投票（1 人 3 票）などの二段階選抜にしてはとの提案がなされた。

2) 大会企画について

シンポジウムの後の時間に、登壇者と気楽に話せるアフターセッションを設ける。懇親会の前、最後のシンポの並行企画、最終日のバス時間までの空き時間の利用、アフターセッション会場での展示コーナーを設ける、等の提案がなされた。

大会校に一任することで承認された。

4. 日本心理学諸学会連合

1) 連合選挙結果について

6 月 10 日に行われた、2007 年度第 1 回定例理事会で行われた役員選挙の結果について、報告された。

- 2) 心理学検定について
第1回の実施日(2008年9月14日)が決まり、A領域、B領域やそれに基づく1級と2級の位置づけなどについて、経過と決定内容について報告がなされた。
 - 3) 資格制度検討委員会報告について
心理学ワールドとしての将来的な資格制度の骨格についての報告がなされた。
5. 臨床発達心理士関係
- 1) 認定運営機構
2007年度資格認定員が決定した。認定運営機構は、事務所や職員など財政的に発達心理学会から、切り離して運営することになった。日本パーソナリティ心理学会の大会において、臨床発達心理士のポイントを出せる研修会を企画していただきたいとの主張がなされた。
 - 2) 資格認定委員会
特に、報告なし。
6. 第16回理事会・第83回常任理事会合同会議および第16回大会会員総会準備
- 1) 準備状況について
合同会議：8月24日：帯広市内、18：00から
会員総会：8月26日12：00から13：00
総会議長の選出について：慣例は大会委員長であるが、機関誌編集委員長であるため、サトウタツヤ大会準備委員会副委員長を候補者として選定した。
7. 事務局報告
- 1) 新入会員(報告事項)
5月新入会希望者：7名)
6月新入会希望者：5名
7月新入会希望者：1名 以上、承認された
 - 2) 2年以上会費未納者について
2年間以上の会費未納者17名。12名の未納者に関しては承認。その他の者は、8月7日を待ち、連絡が取れなければ、退会とすることが承認された。
 - 3) 会勢報告
計775名(上記の新入会員17名は含まれず。昨年総会時会員数は725名)
内訳は、一般会員524名、院生会員240名、学生会員5名、名誉会員5名、賛助会員1名
 - 4) 第81回議事録が承認された。
8. その他
- 1) 機関リポジトリの扱いについて
本学会では、論文の著作権は、学会に属しているが、この問題は、著作権は本人に戻し、頒布権や公衆送信権を学会に帰属させるか、あるいは、現行にままとするか、に関する判断だと考えられると説明された。
首藤副理事長と編集委員会で検討することになった。

2) 名誉会員推挙について

本年度は、具体的な候補者の推薦はなかった。しかし、名誉会員推挙の在り方について、会則中に、「何らかのかたちで学会に貢献した」などの文言を入れてはどうかとの提案が会員からなされていると報告された。

3) 第16回大会の準備状況等について

渡邊大会委員長から、進展状況が報告された。

4) 第17回大会および第18回大会について

第18回大会について、いくつかの候補をあげられ、理事長が交渉することになった。

5) その他

本年度の決算に際しては、すべての委員会の活動経費細目を出して、比較検討することが、承認された。